

住吉町内会では、令和5年度に「地区防災計画」を策定しました！



地区防災計画とは？

地区防災計画は、地域住民による自発的な防災活動であり、東日本大震災を契機に平成25年に創設されました。

過去の災害において避難や救命救助などに大きな役割を果たしてきた地域での助け合い、支え合いの「共助の力」を育む取り組みです。

計画策定までの流れ

町内会役員、組長、各種団体などが地域の代表として集まり、過去の被災地支援の実績がある認定NPO法人愛知ネットの協力を得て、ワークショップ(話し合い)を行いました。参加者で意見交換を行い、令和6年度以降に防災活動の内容を作成しました。

第1回
10/14
(土)

①地区の特性の確認

地域の特徴から地域防災を考えるワークショップ(話し合い)を行い、地域防災の理想(あるべき姿)を考え、「住み吉し 身まもり つながりあい」をみんなのテーマとしました。

第2回
11/25
(土)

②災害時の課題抽出

自助(日頃の備え)、共助(高齢者避難、隣近所の情報)、地域の活動、避難からテーマを1つ選択し、各グループで問題点と課題の整理を行いました。

【課題】

1. 備蓄リスト作成
2. 家具転倒防止の対策
3. 避難行動ルート確認
4. 顔の見える関係作り
5. 災害に対する危機感

第3回
12/9
(土)

③課題解決に向けての検討・防災活動メニューのアイデア出し

5つのグループでテーマを1つに選択し、課題解決に向けての具体的なアイデア出しを各グループで行いました。

第4回
2/10
(土)

④防災活動メニュー企画書の作成

災害に備えた活動に対して、次年度以降に住吉町として取り組みたい防災活動メニューの意見を出し合いました。これをもとに5つの防災活動メニュー企画書を作成しました。

参加者の感想



地域防災について真剣に考える事ができて、とても貴重な体験でした。今後は計画を実現できるかが大切になります。



話を聞くだけでなく話し合いをすることで顔も見知れてよかったと思う。若い年代の方も参加いただいてよかった。

住吉町内会でこれから取り組む防災企画

1 災害を自分事として考えてほしい！

広報大作戦

町内の回覧板や掲示板にて、町内会が行う防災活動や防災訓練の実施日、実施内容を知ってもらい、一緒に参加してもらえるように案内します。また、防災活動や防災訓練を通じて、安城市公式の防災アプリを知ってもらい、災害時の情報収集に役立ててもらいます。

2 住民同士が交流をしながら、災害時に安全なルートを確認したい！

危機管理ウォーキング

組単位で災害時の避難を目的とした危機管理ウォーキングを開催します。危機管理ウォーキングでは、安全な避難経路や災害時に役立つ街頭消火栓の位置などをみんなで確認します。

3 備蓄リストを確認して、災害時に必要な物を備蓄してほしい！

もちよりパッキング

自宅から食材を持ち寄って、湯煎で調理するパッキングを体験します。また、その際に非常持ち出しバックを持参いただき、備蓄の部分で足りない項目がないかを、皆さんで確認します。

4 家具の転倒防止対策で、ケガを撲滅と防災知識の向上を目指したい！

家具の倒れない 住み吉い家造り活動

町内会で防災チームを立ち上げ、家具転倒防止対策の勉強会を行います。また、住吉町の住民で家具転倒防止の設置を希望する方は、防災チームを派遣します。

5 回覧板だけでは見なかったり、見過ごしがちな事を認識してもらいたい！

全世帯に届けたい！

全世帯ごとに災害時における家族ルール(災害時の事について話し合う)として決まった事を書き込めるシートを作成します。シートは町内会の皆さんに回覧板で展開します。



▲防災メニュー企画書の発表の様子

愛知工業大学地域防災研究センターからのメッセージ

地域防災計画において、地域内での防災会議は、災害を自分事として認識するのに大事なことです。そして、皆さんでまち歩きをして、危険な場所や避難ルートを確認し、それをマップ化して活用できるようにすることも大切です。また、家族内で災害時に取るべき行動を確認していくことは、緊急時に適切な行動がとれるようにするために重要なことです。能登半島地震の教訓を踏まえ、耐震化や家具固定をして命を守り、備蓄品等を準備し、災害後も食事等に困らないようにしておく必要があります。

来年度も地域課題についての検討を継続し、そして行動に移していただき、住吉町の地域防災力が向上することを期待しています。